

由利本荘市沖（北側・南側）における協議会（第6回）

○日時

令和7年9月4日（木）14時00分～15時30分

○場所

秋田県庁 正庁
(WEB会議を併用)

○参加者（※WEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁	
省エネルギー・新エネルギー部 部長	小林 大和
経済産業省 資源エネルギー庁	
新エネルギー課 風力事業推進室 室長	福岡 功慶
国土交通省	
港湾局 海洋・環境課 課長	馬場 智
農林水産省	
水産庁 資源管理部管理調整課 計画官	馬場 俊介※
秋田県 副知事	神部 秀行
由利本荘市 市長	湊 貴信
秋田県漁業協同組合 代表理事組合長	杉本 貢
秋田県漁業協同組合 専務理事	菊地 智英
秋田県漁業協同組合	
副組合長 南部地区運営委員長	佐藤 正博（欠席）
秋田県漁業協同組合	
理事 南部地区運営委員	今井 浩一（欠席）
東北旅客船協会 専務理事	武内 伸之※
秋田職業能力開発短期大学校 校長	中村 雅英
秋田県立大学システム科学技術学部 教授	杉本 尚哉
秋田大学理工学部	
システムデザイン工学科 教授	浜岡 秀勝（欠席）
東京大学教養学部附属	
教養教育高度化機構 客員准教授	松本 真由美（欠席）

三菱商事株式会社

常務執行役員

電力ソリューショングループCEO

岡藤 裕治

三菱商事洋上風力株式会社 代表取締役社長

田中 俊一

秋田由利本荘オフショアウィンド合同会社

三菱商事洋上風力株式会社

プロジェクトダイレクター

岩城 陽太郎

(オブザーバー)

環境省大臣官房

地域政策課洋上風力環境調査室 係員

大澤 翔※

○議題

(1) 本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より、資料3（秋田県由利本荘市沖（北側・南側）における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 構成員による推挙により、座長を秋田職業能力開発短期大学校中村構成員、座長からの指名により、副座長を秋田県立大学杉本構成員と選任。
- 座長より、協議会の公開の方法について、議事要旨及び議事録の公表及び一般傍聴や報道関係者の傍聴を認めることに加え、議論の透明性の観点から録画配信を行うことを説明。

(2) 事業性再評価の結果と今後の取組について

- 三菱商事株式会社より、資料4（秋田県「能代市、三種町及び男鹿市沖」「由利本荘市沖（北側・南側）」洋上風力発電事業に係る事業性再評価概要、及び今後の地域での取組説明）を説明。

由利本荘市

- 当初は、市民や漁業者などから心配、不安、反対などの声があつたが、様々な説明などを行い、一定の理解をいただきながら、ようやく進めてくることができた状況。
- 事業者において、様々な検討を行った上で、撤退との結論に至ったことは理解したが、大変残念である。
- 漁業者からの理解をいただきながら、進めていた中で、今回の結果により、今後の心配や不安、怒りをお持ちの方もおられるかも

わからない。今後、再公募を行う際に、理解をいただけるのか少し懸念がある。

- 市内の事業者も洋上風力事業に期待し、先行投資を行った事業者もあり、悪影響が懸念される際には力添えをいただきたい。

三菱商事株式会社

- 大変重く受けて止めており、地域の方々、漁業関係者の方々、地域の事業者の方々に大きな期待をいただいていたこと、ご支援、ご理解をいただきながら、進めてくることができたことについては、重々承知をしており、お詫びを申し上げる。
- どのようなニーズやお困りのことがあるのか、どのようなところで今後も引き続きお手伝いさせていただけるのか、丁寧に提案させていただきながら、対応していきたい。

由利本荘市

- 事業者に対しては、市としても、大変お世話になってきており、引き続き地域振興について、力添えをいただきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 事業者において、地域、事業者双方にも持ちつ持たれつとなるよう検討いただけすると幸い。

三菱商事株式会社

- 承知した。

秋田県漁業協同組合（代表理事組合長）

- 当初の協議会より、様々なお話を来て、やっとここまで来た中で、次の事業者への協力がどれほどできるのか、非常に危惧をしている。
- 次の事業者が決まる、決まらないにかかわらず、時間を短縮していただきたい。

三菱商事株式会社

- 再公募に向けては、最大限お手伝いさせていただきたい。
- どのようなお手伝いができるか、漁業の関係者の方々と相談させていただきながら、丁寧に対応していきたい。

秋田県漁業協同組合（専務理事）

- 市の説明会においても、様々な意見が示されていたが、様々な問題に対して、真摯に対応いただき、次の事業者が決まった際に漁業者にしこりが残らないように進めていただきたい。

三菱商事株式会社

- 承知した、どのようなニーズやお困りのことがあるのか、丁寧に相談させていただきながら、対応していきたい。引き続きよろしくお願ひする。

秋田県（事務局）

- 今回のプロジェクトは、単に民間における大規模な事業というだけでなく、法に基づいて国がデザインしたスキームの中で、事業者が選定され、進めてきた経緯があり、事業の公益的側面、国を代表する企業が事業者であるなどの理由から、事業の一定の見直しやスケジュールの変更があっても、撤退はないと考えていただけに、今回の決定については、大変大きな衝撃を持って受け止めている。
- 県では、安定的な発展性のある産業経済基盤を構築していくことが長年の課題であり、そのような中で、洋上風力発電の導入拡大、生み出されるクリーンエネルギーを活用した産業の集積など、我が国が目指すカーボンニュートラルに貢献しながら、これから秋田を牽引していく大変大きなプロジェクトと捉え、県が先頭に立って関係自治体、民間事業者、業界団体、経済団体とも一丸となって、円滑な推進に向けて取り組んできたところである。
- 秋田県は事業主体ではないが、事業推進のパートナーであるという意識を持って、取組を進めてきただけに、いきなりの撤退の決定、表明との印象を持っており、非常に残念であり遺憾に思っている。
- 今回の決定が及ぼす影響は、広範かつ多大なものと思われ、関係者に対しては、今後も、経緯や理由についての丁寧な説明、また、社会的な責任を果たす意味において、影響を受ける多くの方々に、誠意ある対応をお願いする。
- これまで取り組んでいただいている、地域共生策の継続をお願いするとともに、秋田の課題解決、発展に向けた多方面のチャレン

ジについても、今後も積極的に関与いただくようお願いする。

三菱商事株式会社

- ご指摘いただいた点を肝に銘じ、地域の関係者の皆様と向き合い、責任を果たしていきたいと思っております。引き続きご相談をさせていただきたい。

秋田県立大学

- 当大学としても、洋上風力の人材育成との形で、様々な取組みを進めているところであり、本荘キャンパスに近い場所に風車が立地するとのことで、多くの学生が洋上風力の分野へ進んで行くことを期待していた中、撤退に至ったことは残念である。
- 可能な限り早急に、次の事業者が決まり、洋上風車が立地するよう協力いただきたい。
- 洋上風力の開発で、働く方が増えたことにより、アパートが不足し、学生が入学時に居住先の確保に苦労している状況もあり、次の事業者においては、そのようなところまで配慮いただきたい。

三菱商事株式会社

- 大学において、洋上風力業界の今後の発展を見通しながら、様々な取組みを進めてきたことについては、大変重く受け止めており、早急に、次の事業者が決まるよう、可能な限りのことを行っていきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 今回の撤退の決定は、説明を聞いても完全には納得できないと思われるが、事業者の決定事項は変わらず、どのようにすれば次のステップに進めていくことができるかを考えていくことが望ましい。
- 本日の意見・質問を踏まえ、国においては事業環境整備に向けて取組を進めるとともに、事業者においては地域の声として真摯に受け止めていただきたい。

（3）今後の取組について

- 経済産業省（事務局）より、資料5（今後の取組について）を説明。

秋田県漁業協同組合（専務理事）

- 協議会のとりまとめについて、基金への出捐等の規模については、第1ラウンドでは、売電収入の0.5%であったが、第2ラウンド以降では、発電設備出力1kW当たり250円となっており、同様としていただきたい。
- 漁業影響調査については、第1ラウンドでは、非常に簡単に示されているが、第2ラウンド以降では、詳細に示されているケースもあり、例えば、企業、事業の評価はどういうことをやるのか、どのような魚種、漁法についてどのような調査を行うのかなど、可能であれば、協議会の中に実務者会議を設置し、検討していく形としていただきたい。
- 県の水産部局や水産振興センターの考えを取り入れて、検討いただくと漁業者としても納得できる形となるものと考えている。

経済産業省（事務局）

- 基金、漁業影響調査、実務者会議などは、第2ラウンドから新たに改善をされた部分もあり、このようなことを含めて、とりまとめの内容について再検討をさせていただきたい。内容の改善とともに、スピード感も勘案しながら、進めていきたい。

由利本荘市

- 再公募はできるだけ速やかに進めていただきたい。また、不安を抱いている方々もいるため、スケジュールなど詳細についての情報提供もお願いする。
- 今後、再公募や事業を進めるに際しては、長期事業のため、先の見通しが難しいことは理解できるが、今回のように、振出しに戻ることが2度と無いよう強くお願いする。
- 第1ラウンドと第2ラウンドの間で、大きく変わった部分もあり、不公平感の無い仕組みで再公募を進めていただきたい。
- 議会の中からは、地元の海域で発電される電気を、地元で利用する仕組みが構築できないかとの話が多くあり、ハードルが高いことは理解しているが、そのような仕組みも検討いただけすると大変ありがたいと思う。
- 健康被害など様々な心配をされる方、景観への影響など反対されている方がおり、引き続き、そのような方々への説明、対応をお願いする。

経済産業省（事務局）

- 再公募については、できるだけ早く行えるよう、プロセスを進めたい。スケジュールなどの情報についても、適時適切に共有していきたい。
- 今回のように、振出しに戻ることが2度と無いようにすることは、同様の思いであり、関係審議会において事業環境整備などをを行い、今回と同様の事態を招かないよう進めていきたい。
- 地元における発電電力の利用や、心配や反対されている方への説明などについても丁寧に対応していきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 発電を行う由利本荘においては、電気代を安くし、企業誘致に利用するなどのことが可能となると、発電所があるメリットが生じ、地域の発展にも繋がることとなり、検討いただきたいと思う。

経済産業省（事務局）

- 現状では難しい面もあるが、他の自治体においては電力クーポンを配布するなどのアイデアもあり、様々な方法があるものと考えている。

秋田県（事務局）

- 今回のプロジェクトは、県としても、大変大きなプロジェクトとの認識であり、提案があった漁業影響調査に関する検討など、様々な対応を行なながら、地元の関係者の理解をあらためて得た上で、何としてもプロジェクトを実施してほしい。実施に当たっては、可能な限りの早期の再公募を求める。
- 事業の撤退に至った背景を十分に踏まえて、事業が最後まで完遂できるような制度設計をお願いする。
- 今回の撤退に伴い、様々な影響を受ける方がおり、特に先行投資を行った事業者には、県としても寄り添った対応をしていくが、国おいても、最大限の、かつ弾力的な対応をお願いする。
- 地元としても、官民挙げてのプロジェクトであるとの認識のもとで、今後も可能な限り推進に貢献していきたい。事業主体、国、

地元が、より密な意思疎通の下で、プロジェクトと共に推進していけるよう配慮いただきたい。

経済産業省（事務局）

- プロジェクトの早期に実施に向けて、関係者の皆様への様々な対応を行い、地元に寄り添いながら、進めていきたい。
- 次の事業主体が事業を完遂できるように、環境整備、制度設計に取組んでいきたい。
- 先行投資を行った事業者や漁業関係者への影響に対しても、寄り添っていきたい。県の方で行っている影響調査結果などに基づき、対応を行っていきたい。
- 発電事業者、地元、国の連携についても、今まで以上に重要なとの認識であり、その点を踏まえて進めていきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 次回以降は、再公募を行うことを前提に検討を進めることとし、具体的には協議会意見の見直しを議論していくこととしてはいかがか。

【異議なし】

- 事務局においては、再公募を行うことを念頭に、次回以降、協議会意見とりまとめの見直し等の調整・整理を行っていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 今後の協議会の進め方について、本協議会としては本海域で再公募を行う方向で調整することとし、その再公募に向けて、協議会意見とりまとめの見直し等について、次回以降、検討させていただきたい。
- 具体的な開催時期や内容については、改めて調整させていただきたい。引き続きよろしくお願ひする。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 事務局においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上